

2020.10.16



Ypsilon Electronics (イプシロン・エレクトロニクス)
とディストリビューション契約を締結。
同社製品を本年10月より順次ご紹介してまいります

拝啓

時下、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、株式会社ステラ（以下当社）は、ギリシャ共和国の首都アテネを本拠地とする **Ypsilon Electronocs**（以下 **イプシロン**）とディストリビューション契約を締結いたしまして、本年 10月より順次同社製品を日本市場にご紹介してまいります旨ご案内申し上げます。

イプシロンは、ふたりのオーディオスペシャリストにより1996年にアテネにて設立された小規模なハイエンドオーディオブランドです。同社はトランジスタから真空管まで幅広い技術を兼ね備え、また近年ではあまり目にすることが無くなったトランス技術に独自の見識と技術を持つ稀有な存在です。**イプシロン**製品の大きな特色は、カスタムメイドの高性能トランスを随所に用いることによる、ロスを感じさせることのないエネルギー感溢れるサウンドと広大なダイナミックレンジにあります。

日本マーケットには、本年10月より手始めに**プリアンプ PST-100mk2 SE** をご紹介し、その後順次ラインナップを拡大してまいります。

ぜひとも **イプシロン** 製品にご注目ください。

何卒よろしく願いいたします。

敬 具

株式会社ステラ
取締役社長 橋岡 和彦

Ypsilon

・ ステレオプリアンプ PST-100mk2 SE 定価 ¥ 7,200,000 (税別)

受注開始 2020年 10月1日

株式会社ステラ

173-0026 東京都板橋区中丸町51-10

Tel: 03-3958-9333 Fax: 03-3958-9322

www.stella-inc.com e-info@stella-inc.com

Ypsilon PST-100mk2 SE

ステレオプリアンプ

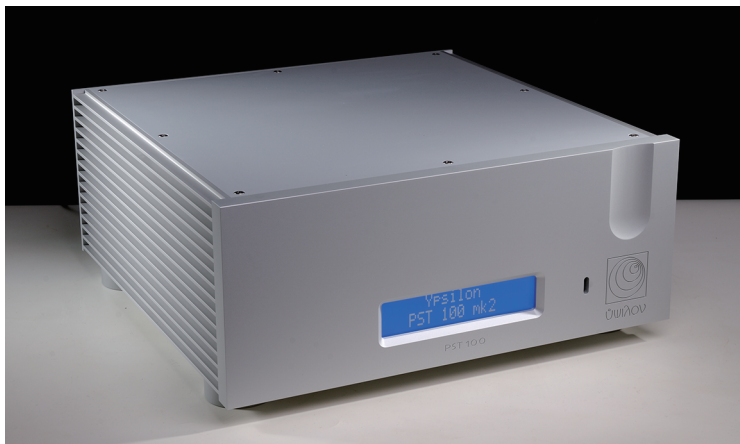


¥7,200,000 (税別)

自社設計・自社製造したトランスを随所に最大限活用したプリアンプ

ボリューム回路であるとか、回路間の段間結合であるとか、アンプの各所にトランスを用いることは古くから行われており音質に非常に優れた方式でしたが、オーディオグレードのトランスを作るには物量と技術が必要で、それらの理由からトランスの使用は廃れてしまいました。今となっては殆どのオーディオメーカーでトランスに対する知見を持ち合わせていないのが現在の状況です。

しかし、イプシロンの大きなアドバンテージは、トランスに関する知識と技術を持ち合わせていること、自社設計したトランスを自社で手巻き製造できることにあります。PST-100mk2 SE は自社巻線のトランスをボリュームコントロールをはじめとして随所に使用した、他に例を見ない構成のプリアンプです。



自社設計の手巻きトランスを使用したトランスアッテネーター

ボリューム回路(アッテネーター)に、自社設計・自社製造した高性能トランスを使用。2次側巻線に31個タップを設け、トランス巻線比を変えることにより31段階のボリュームコントロールを行います。抵抗器を使用する通常のアッテネーターでは、どんなに良い素子を使用しても原理上信号エネルギーの損失は避けられませんが、トランス方式ではエネルギーのロス無くボリュームコントロールすることを可能にしています。

信号経路はすべて銀線で構成

モデル名の末尾 SE は Silver Edition を意味します。信号経路内に存在する自社製造のトランスはすべてカスタムメイドのエナメル被覆銀線を手巻き、それ以外にも信号経路となる内部配線はすべてカスタムメイドの銀線を使用しています。

シンプル&ピュアな回路構成

PST-100MK2 SE では、信号経路から余分なものを極力取り去ったシンプルでピュアな回路構成を採用。増幅段には、超長寿命で知られる SIEMENS製 C3m 5極管をトライオード接続で使用したゼロフィードバック回路を採用。クラスA・シングルエンドのシンプルな構成で17dBのゲインを得た後、カップリングトランスを介してボリューム回路へと引き継がれます。使用しているカップリングトランスも自社で巻いたカスタム銀線仕様です。増幅回路を極力シンプルなものとするために、真空管には固定バイパス回路を採用。信号経路内にはC3m真空管とトランスの他にはグリッド抵抗1つとバイパスコンデンサ1つしか存在しません。

6CA4 整流管とチョークトランスによる電源回路

カスタムトランスと整流管 6CA4 による電源部に自社設計のチョークインプットトランスを使用。チョークトランスを自社設計することで真空管動作に最適な電圧を供給。MUNDORF製電解コンデンサを使用。

アクティブモードとパッシブモードを選択可能

PST-100MK2 SE にはSIEMENS製 C3m 5極管を使用した増幅段がボリューム回路の前段に備わっており、ボリューム回路とはカップリングトランスを介して接続されています。通常のアクティブモードでは信号は増幅段を通りますが、パッシブモードを選択すると増幅段はバイパスされ、信号はトランスボリュームのみを通るだけのパッシブプリアンプとして動作させることも可能です。

ノブ無し、スイッチ無し

内部構成を極力シンプルにすることにこだわり、本体にはメイン電源スイッチがあるのみです。すべての操作はリモコンで行います。制御回路は最小限とし機器内部での高周波ノイズ発生を極限にまで抑えています。

スペック

方式	真空管式ステレオプリアンプ	ボリューム	31タップトランス2次巻線切り替え方式
回路方式	シングルエンド(アンバランス)	ステップ 1~5:	3 dB
使用真空管	1 x 6CA4 (電源回路部) 2 x C3m (増幅回路部)	ステップ 6~10:	2 dB
入力端子	5 x RCA (アンバランス) 1 x XLR (アンバランス)	ステップ 11~28:	1.5 dB
ブリ出力端子	1 x RCA (アンバランス) 1 x XLR (アンバランス)	ステップ 29~31:	1 dB
テープアウト端子	1 x RCA	周波数特性	9 Hz - 100 kHz, -3dB
		出力インピーダンス	150Hz以下
		入力インピーダンス	50k Ohm
		ゲイン	17 dB
		最大消費電力	100 VA
		外形寸法	400 (W) x 180 (H) x 410 (D) mm
		質量	25 kg

Stella Inc.

株式会社 ステラ
〒173-0026 東京都板橋区中丸町51-10
Tel: 03-3958-9333 Fax: 03-3958-9322
Mail: e-info@stella-inc.com
http://www.stella-inc.com